

基礎研究

題 目	担 当 者
朝鮮人と兵役	戦史部主任研究官 山 村 健
朝鮮戦争の再検討（その２）	第１戦史研究室室長 庄司 潤一郎 第１戦史研究室主任研究官 進藤 裕之 第１戦史研究室所員 石丸 安蔵 第１戦史研究室教官 小 谷 賢
シー・パワーの歴史とその将来像（その２）	第１戦史研究室主任研究官 石津 朋之 同 立川 京一
インドネシアにおける日本の軍政（その４）	第１戦史研究室主任研究官 芳賀 美智雄
海軍軍法会議の意義とその功罪についての考察（その２）	第１戦史研究室所員 山本 政雄
朝鮮軍の研究（その２）	第１戦史研究室所員 濱 田 秀
米国の対日戦略爆撃と日本の防空（その２）	第１戦史研究室所員 柳 澤 潤
自衛隊の海外での活動における刑事事件への対処について	第１戦史研究室主任研究官 加藤 好貞

戦史部指定研究

題 目	担 当 者
防衛庁・自衛隊における戦史編纂	第２戦史研究室長 塚本 隆彦
海自航空機ロジスティック基盤整備の適正性に関する史的考察 - 旧海軍との比較研究 -	第２戦史研究室主任研究官 河村 修二
戦略封鎖思想の進化が日本陸海軍軍人の地政学的戦略眼に及ぼした影響	第２戦史研究室所員 高橋 文雄
特務機関	第２戦史研究室所員 山口 真司
航空自衛隊の創設とその時代	第２戦史研究室主任研究官 大場 一石
日米開戦戦争指導 - 軍部独走体制の再考察 -	第２戦史研究室所員 安芸 雅宣
旧軍の駐屯地・基地問題	第２戦史研究室主任研究官 柴田 武彦
ノモンハン事件のその後の戦車戦・対戦車戦に与えた影響	第２戦史研究室所員 松橋 徹弥
戦後日本の航空兵力再建	第２戦史研究室所員 岡田 志津枝
支那派遣軍の降伏及び武装解除、復員に関する考察	第２戦史研究室所員 弓削 欣也

#### 4 平成 18 年度の戦史編さん等について

防衛研究所戦史部第 2 戦史研究室は、「作戦及び戦闘に係わる戦史に関する調査研究及び当該戦史の編さんを行う」ことを任務としているが、平成 18 年度は昨年度に引き続き戦史編さん等の業務を重点に活動を行っている。

戦史編さん等の業務は、平成 15 年 4 月に「防衛研究所の戦史編さん等に関する達」を制定し、これを基幹として種々の推進を図り、併せて戦史編さんの方向付け及び適切な戦史史料編さんの実施に資することを目的に「戦史史料編さんに関する指針」を同年 7 月に作成し、本年度も努力を継続している。

平成 18 年度の戦史編さん業務は、3 項のカテゴリーによる分類で実施している。それは、近代史関連の戦史史料編さん、戦後史関連の戦史史料編さん、及び 19 年度から本格的に活動を行う 国外散逸史料の収集である。以下これら 3 項について説明する。

##### (1) 近代史関連の戦史史料編さん

本年度は、ノモンハン事件関連史料の編さん及び刊行と、基地問題関連史料集の編さんを実施した。

ノモンハン事件関連史料の編さん及び刊行は、近年いくつかの史料に基づく研究等が公開された状況から、平成 17 年度にロシア所蔵のノモンハン事件関連史料を収集し、本年度これら进行分析、研究し、防衛研究所が従来から所蔵する関連史料と比較等実施して、史料集編さんを行い、刊行することによって今後の調査研究に資するものである。

基地問題関連史料集の編さんは、在日米軍基地等に関する旧軍及び戦後の史資料を収集・編さん、防衛政策立案のための基盤確立及び安全保障政策史の調査研究に資するものである。

##### (2) 戦後史関連の戦史史料編さん

戦後史関連の戦史史料編さんは、「基地問題関連史料集」編さんとオーラル・ヒストリー（口述記録の作成）とに取り組んでいる。このうち、オーラル・ヒストリーは、自衛隊創設期から 1970 年代前半における我が国の安全保障政策に関するオーラル・ヒストリーの作成を実施するもので、本年度は、佐久間一氏を中心としたオーラル・ヒストリー、中村龍平氏を中心としたオーラル・ヒストリー、及び 特定テーマに関するオーラル・ヒストリーの 3 件に取り組んでいる。

佐久間一氏を中心としたオーラル・ヒストリーは、本年度内の刊行を、中村龍平氏を中心としたオーラル・ヒストリーは、平成 19 年度の刊行を目指している。

特定テーマに関するオーラル・ヒストリーは、在日米軍基地問題等に関する歴史的事象について、オーラル・ヒストリーの手法による要人の口述記録を作成し、安全保障政策史の調査研究に資するものである。

### (3) 国外散逸史料の収集

17年度のロシアからの史料収集に引き続き、本年度も国外に散逸した歴史史料の収集に努め、現在オーストラリア国立戦争記念館からの入手を行っている。また、19年度からの本格的な収集のための予算が認められ、中期計画を策定するとともに、事業の進捗を図っている。

## 5 戦史資料の閲覧

防衛研究所は、旧陸海軍関係の公文書、非公文書及び戦史関係の出版物並びにそれらの複製物（以下、「史資料」という）を、平日9時から16時30分まで、図書館史料閲覧室において一般に公開している。

調査研究のため閲覧を希望する者は、所定の手続きをとって誰でも閲覧することができる。

平成18年の閲覧者総数は、3,439名であった。

月別閲覧者数は、下表の通りである。

月	1	2	3	4
閲覧者数	231	286	309	234
月	5	6	7	8
閲覧者数	259	312	321	359
月	9	10	11	12
閲覧者数	324	264	284	256

## 6 レファレンス

防衛研究所は、主に図書館史料閲覧室を窓口として、史資料の検索、特定史資料の内容に関する情報提供、史資料に関する参考文献及び専門的調査機関等に対する情報提供を行